

令和元年度 福島区の主な事業 (保健福祉・総務部会)

1 人と人がつながり支え合うまちづくり

➤ 地域の福祉活動サポート事業

⇒地域福祉活動の中心的役割を担う

地域福祉コーディネーターの配置(10地域)

➤ ふくしま暮らし支え合いシステム事業

⇒高齢者や障がい者の日常生活の

軽微なニーズに対し有償ボランティアとのマッチング

➤ 中学生被災地訪問事業

➤ 健康づくり事業

⇒いきいき百歳体操、かみかみ百歳体操、

しゃきしゃき百歳体操、知っ得!健康塾

➤ 地域包括ケアシステムの推進

⇒住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けられる様に

高齢者向けの介護福祉情報を集約したリーフレットを作成し広く配布



いきいき百歳体操のようす



介護福祉情報リーフレット

2 次世代を元気に育むまちづくり

(妊娠期から就学前のこどもを持つ親に対しての子育て支援)

➤ 待機児童解消のための保育施設整備

⇒平成31年度 認可3か所開設

令和2年度 認可3か所・小規模1か所開設予定

➤ 子育て交流会(年12回)

⇒にこにこ広場

➤ 保育付き母親の健康づくり セミナー(年4回)

⇒美ママ講座

➤ 赤ちゃん広場の実施(年12回)



赤ちゃん広場の様子

3 次世代を元気に育むまちづくり

(教育環境の充実)

➤ 特別支援教育・発達障がいボランティア事業

➤ 小中学生の体力向上

⇒ゲストティーチャー派遣事業(小3校・中3校)

⇒放課後校庭等見守りボランティア事業(小学校)

➤ 小中学生の学力向上

⇒小学生学習支援

(小学校5校に放課後、民間事業者により指導)

⇒中学生課外学習事業

(TERACO：区民センターで民間事業者による指導)

⇒区内の中学生を対象に英検検定料を支援



【ゲストティーチャー派遣事業】
下福島中学校で水泳の指導をする
千葉すずさん

➤ 福島小と上福島小の通学区域の変更

⇒令和2年4月より変更

➤ 民間企業・団体の協力による

学校・教育環境へのサポート

⇒ワークショップコレクションの開催（8月12日実施）

⇒漫才ワークショップを小学校4校で実施予定

⇒地域団体による小学校への支援



大阪福島ライオンズクラブから
小学校9校にテントの寄附



大阪西北ロータリークラブから
小学校9校で芸術鑑賞
(写真は福島小での和太鼓等演奏会)

地域活動における 子どもの居場所づくり

- ◆ 上福島地域における小学生向け
自習室の設置(夏休み中の15日間)
- ◆ 鷺洲地域での「さぎすキッズサークル」開催



さぎすキッズサークルの様子

4 区民が満足・納得できる区役所づくり

➤ 区民が区政運営に参加・参画する

仕組みの更なる充実

⇒区政会議新任委員向けのラウンドテーブル開催予定

フィードバックの徹底

区政会議について広報紙やSNSを活用した広報の検討

➤ 多様な区民の方の意見や

ニーズの的確な把握

⇒区政会議や区民モニターアンケート調査

などにより意見を収集

➤ 区政情報の発信

⇒広報紙（年12回）やホームページを

中心にFacebook等も活用しタイムリーに区政情報を発信する



区政会議ラウンドテーブル

福島区のコミュニティサロン

- ▶ 居場所づくりや地域交流の拠点として、地域住民や民間団体が独自に運営
- ▶ 区社協が支援・協力し、
区役所も広報等で支援
- ▶ 福島区サロン連絡会所属団体数
 - ・ 平成29年度・・・15団体
 - ・ 平成30年度・・・18団体
 - ・ 平成31年度・・・19団体



玉川おしゃべりサロン

最近のサロン開設の動向

▶ 子どもの居場所、「こども食堂」などが増加中

□ 「キッズサロンななとこ」（野田）

平成30年度オープン

対象は野田校下の小学生

月1回、おやつ等の提供。将来的に食事提供も検討。宿題、英語、折り紙等で交流

□ 子ども食堂「えび庵ふあん」（海老江東）

令和元年7月オープン

対象は区内の小中学生

第2・第4月曜開催、夕食を提供。宿題や交流の場として開催

□ “子どもとみんなの”「ちりん食堂」（吉野）

令和元年11月11日オープン（予定）

対象は区内の小中学生が中心。毎週月曜開催、夕食を提供。

つどい、宿題、遊びの場に。



キッズサロンななとこ



えび庵ふあん

地域における見守りネットワーク強化

▶ 要援護者名簿を活用した取組み

区社協、区役所から要援護者名簿を提供、地域で災害時の
安否確認や見守り活動に活用（町会等で管理）

□ 【新家・鷺洲地区】

要援護者名簿をもとに戸別訪問

□ 【鷺洲上一町会】

ハロウィンイベントを通して高齢者と親子の
3世代交流をはかる

□ 【上福島、鷺洲、新家、海東、海西地区】

緊急カプセル配布



地域での見守り活動



ハロウィンイベントを通じた
見守り活動

福島区自立支援協議会からの報告

▶ 協議会の構成メンバー

区役所、区社協、障がい福祉団体、障がい福祉関係事業者など

▶ 協議会の年間活動

年5回の会議、区民まつりでの啓発活動、障がい者週間の取り組み、
人権啓発推進協議会実施のヒューマンシアターでの啓発事業など

▶ 福島区地域福祉ビジョンとの関連

目標A ～生活課題の解決～

方針：区民誰もが生活しやすいと実感できるよう、
生活のしづらさを抱えている住民を支援する。

取り組み1 生活課題の発見とニーズ把握の体制づくり

取り組み2 あらゆる相談に対応する総合的な体制の充実・強化

取り組み3 社会福祉施設及び各種福祉団体間の連携強化

取り組み4 福祉サービス利用の支援と制度の狭間にある方々への支援

福島区自立支援協議会からの報告

▶ 取り組みに関連した事例報告

- ・ 訪問調査員による聞き取りの際の姿勢についての課題の発見
「聞き取られる側の気持ちを十分理解して質問しようとする姿勢に改善の余地はないか。」
- ・ 区役所、区社協、市社協、区自立支援協議会での意見交換
「聞き取りの現状について意識共有と改善に向けての意見交換」
- ・ 市社協主導による全区への改善に向けた迅速な働きかけ
「全区レベルでの現状課題の情報共有と注意喚起」
「全区レベルでの訪問調査員の資質向上に向けた研修の実施」
「改善に向けた事例の検証」
「検証を踏まえた全訪問調査員に対する研修の実施」